

# やまばと

(第65号)



発行

社会福祉法人 浄泉会

秦野市渋沢2620-2

TEL 0463 (87) 1188

発行人 西田精吾

E-MAIL

yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

URL

http://yamabato.org/

## 意思決定支援について

常務理事 藤澤 学

平成29年3月31日厚生労働省より「障害福祉サービスの利用等に

あたっての意思決定支援ガイドラインについて」が発出されました。

その趣旨は、「事業者がサービス等利用計画や個別支援計画を作成してサービスを提供する際の障害者の意思決定についての考え方を整理し、・・・現場において意思決定支援がより具体的に行われるための基本姿勢、方法、配慮されるべき事項等を整理し、・・・もって障害者の意思を尊重した質の高いサービスを提供に資することが目的とされるものである。」

また、その基本的原則は「(1)本人の支援は、自己決定の尊重に基づき行うことが原則である。・・・

(2)職員等の価値観において不合理と思われる決定でも、他者への権利を侵害しないのであれば、その選択を尊重するよう努める姿勢が求められる。」ことになっていま

す。この2点についての支援は、表出言語を持たない、さらにはノンバーバルコミュニケーション(非言語)が成り立ちにくい利用

者への意思決定支援が強く求められています。

加えて、その利用者より「不合理」と思われる意思「疾病による食事制限があるのに食事制限されている食事が食べたい」ことについて「リスク管理を強調するあまり、本人の意思決定に対して制約的になり過ぎないよう注意が必要である。」とのこと。このような場合の同意と説明は、現場としては、大変大きな課題であると考えています。意思決定支援を踏まえながらどのような本人中心のプログラムを提供できるか。

一つの方法論として「パーソンセンタード(本人中心)アセスメントが提案されています。ロジャー・スの「来談者中心療法」が源流としており、「無条件の肯定的関心」と「共感的理解」を重視していま

す。つまり、「どのような障害者であってもその可能性の実現と、社会参加・参画が可能なインクルーシブな社会を構想する相談支援であり方を、本人中心相談支援と呼び、

本人が中心となって一緒に立てる計画を、本人中心計画(サービス等利用計画)と呼ぶ」とし、「現在の本人の3領域(暮らしの場、日中活動、余暇)の関係性における自己表現・自己表出のあり方のアセスメント(評価・診断)すること」としています。

このアセスメントを受けて、支援会議において本人の望みや希望を3領域において目標を明確にして個別支援計画を策定していくこととなります。これらの方法を参考にしつつ、本人中心の個別計画及び計画の実践を行うこととなります。これを実現していくためには、内部だけでなく、第三者の意見をもらいながら、時間を掛け意思決定支援により、質の高いサービスを提供できるよう努めていきたいと考えています。

※引用資料 「障害分野におけるパーソンセンタード(本人中心)アセスメントに関する考察」オーストラリアの取り組みを参考に——木口恵美子」

**通所から入所支援課へ  
入所支援課 主任 佐藤 恵**

4月より通所支援課から入所生活支援課に異動となり2カ月経過しました。

利用者皆様がとても優しく接して下さり、名前もすぐに覚えていただき、受け入れて下さっていると思う反面、どうなのか不安もあります。

入所支援員の経験もありますが、それも10年ほど前なので、一から学ばせていただきます。私に不安があることは、利用者様も不安を持っているので、お互いが不安を持たず、良き信頼関係を築くことを目標とし、まずはお互いを知り、利用者様のニーズにしっかりと対応し、信頼を得て、共に生活を送ることから始めたいと思います。

又、利用者様本位の支援を実現させるため、利用者様の声に耳を傾け、真摯に受け止めていきたいと思っております。

利用者様、ご家族の皆様どうぞよろしく  
お願い致します。



**栄養士として  
栄養士 菊地 恵子**

やまばと学園では、朝・昼・夕の計3食、60〜130食を提供しています。1年を通して、「季節」を感じる事のできる食材を取り入れたり、様々な行事の際には少しでも特別感を感じられるように献立を作成しています。

月に1回利用者様と行う「かながわ会議」では、利用者様から色々なご要望を頂きます。特に多いのが「うな丼」



「カレーライス」が食べたい！です。うな丼は年に数回しか提供がないので皆様とても楽しみにして下さっています。また、カレーライスは頻繁に提供していますが、大好きな方が多く、カレーの日は残量も少ないです。食事をとても楽しみにして下さる利用者様に満足していただけるよう、そして、栄養バランスのしっかり取れた食事を提供できるよう、調理員と共に取り組んでいきます。

**支援課わかば係昼食外出  
支援課 相原直美、大西妙子**

3月12日に、3階利用者様と職員で秦野市の「夢庵」に行きました。普段から個別・グループ外にはありますが、3階利用者様全員で参加できる企画は珍しく、とても楽しみでした。

全員揃っての食事外出、私は現地で皆様の到着をお待ちしていました。職員と一緒に車から降りて来られた利用者様はとても笑顔でした。お食事もとてもおいしく、ドリンクバーも人気で皆様喜んでお代わりをされていました。このような企画が多く持てるように微力ではありますが、お手伝いできたらうれしいです。(相原)



今回は3階利用者様全員での食事外出に参加させて頂きました。利用者様はもちろん私もとても楽しみにしていた外出です。ドリンクバーでは何回もおかわりをされ、特にフロアズンが大人気でした。このような機会を通して利用者様と楽しい時間を過ごせたことに心から感謝しています。(大西)

**お久しぶりです  
入所支援課 チーフ 峰尾 俊**

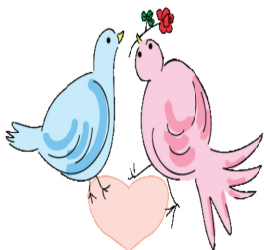
4月より、3階わかば係に異動になりました、峰尾と申します。

平成27年度に地域生活課へ異動し、やまばとハウスの開所や、ピジョンハウスの移転に関わり、2年間地域に出て、業務に努めてきました。

グループホームでは、自立支援・意思決定支援の大切さを学び、利用者様主体の生活スタイルを心掛け、支援させて頂きました。

3年前、3階職員だった私の事を覚えていられたご家族の方達から「どうしたの?」「戻って来たの?」など、声をかけて頂き嬉しく思うと共に、これからは地域生活で学んだ経験を活かし、多くの方々の期待に応えることが出来るよう、利用者様支援に精進していきます。

これから皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



## 異動のご挨拶

通所センター支援課 柴田 幸子

入所勤務ではご家族の温かいご協力の下支援に励む事ができました。3月の辞令に驚きつつ、2年半の多くの思い出を胸に4月の異動の日はあるという間にやってきました。異動後、入所利用者様からの「もう来ないのか」と言う問いに「すぐそこに移っただけなのでいつでも会えますね」と答えると笑顔で頷いて下さった事。言葉の無い利用者様へ同様に話すと「私もわかっていきますよ」と言うように見つめ返して下さいました。居場所が変わっても共に進んでいけることを再認識し安堵した瞬間でした。

通所センターではパワフルな職員統率と緻密な連携の下、利用者様主体の様々な活動が展開される事や時間を無駄なく使い仕事をごなされていく事に目を見張るスタートでした。今後も新たに出会えた利用者様お1人お1人の持つ異なる世界に、ご家族の皆様と共に寄り添っていけるよう日々精進して参ります。どうぞよろしくお願致します。

## かるがも班食事会

支援課 宮崎 紀旭

2月22日、丹沢の森でイチゴ狩りと、食事を行ないました。



河津桜や菜の花が咲きほこる時期に、かるがも班はこの日美味しい料理と、春の代名詞イチゴをいただきに出発しました。レストランでは利用者様の微笑む顔と心温まるひと時で、美味しい料理を頂きました。そして丹沢の森までドライブ。



自然を満喫した後のイチゴ狩りです。練乳を付けて食べるもぎたてのイチゴは格別。皆さんホッペが落ちんばかりでした。口にはおぼりながらもこぼれそうな笑顔。利用者様に楽しい外出を提供出来ました。これからも利用者様一人一人に楽しかったと言って頂けるよう、より一層勤めさせていた

## コンドル班食事会

支援課 山口 隼人

3月24日金曜日に平塚市にある「花菜ガーデン」へ利用者様・ご家族・職員とでお出かけに行きました。

花菜ガーデンは広いスペースに薔薇園を始めとしたガーデンングやレストランや休憩所を兼ねたカレル・チャペックの簡単な資料館などがあります。

当日は時期的に花が満開でなかった事が残念でしたが、天候に恵まれ園内を自由



にお散歩出来た事や利用者様が1輪の綺麗な花をうっとり眺めている姿を見て自分も幸せな気持ちになりました。

食事会場は園内のレストランでビーフシチューの他、たくさんの美味しいメニューがあり、利用者様・ご家族の方々にも喜んでいただけました。

## 散歩ボランティア

月に一回、秦野カトリック教会の方が来園してくださり、数名の利用者さんと一緒に、学園の農園や頭高山までの散歩にかけています。



気候によって行えない時期もありますが、ボラティアの方々との触れ合いを、いつも楽しみにしています。すっかり顔見知りになったボランティアの方々と、歌ったりお話ししたりと、楽しいひと時を過ごさせていただいています。



## 人事昇格・異動

平成二十九年四月一日付異動者

佐藤 恵 ↓生活支援課

峰尾 俊 ↓生活支援課  
もみじ係主任

柴田 幸子 ↓通所支援課  
わかば係チーフ

安藤進太郎 ↓通所支援課

小澤 裕子 ↓地域支援課チーフ

横山由希子 ↓生活支援課  
もみじ係兼地域生活課

平成二十九年一月～五月入退職者

◎入職された方

給食係 香川 恵 (二月一日付)

生活支援課 篠原 絵美 (二月九日付)

地域支援課 永嶋 善美 (四月一日付)

生活支援課 川田真由美 (四月一日付)

通所支援課 佐藤 孝江 (四月四日付)

◎退職された方

栄養士 平嶋恵美子

通所支援課 (二月三十一日付)  
浅見 清  
生活支援課 (二月二十八日付)  
鈴木身江子  
給食係 瀬戸 照子  
通所支援課 鈴木 滋  
地域支援課 齋藤 浩介  
地域支援課 加藤 隆夫  
通所支援課 (三月三十一日付)  
飯田ひとみ (四月三十日付)

## 編集後記

平成29年度が始まり2ヶ月が経ちました。

新年度に入り、情報委員会もリニューアルし、新しいメンバーでの初めての機関紙発行となりました

浄泉会やまばと学園後援会の会員・賛助会員を募集しています

### 社会福祉法人浄泉会 やまばと学園後援会

■法人設立の趣旨をより効果的に実現する為に、社会福祉諸活動を支援しようとするものです。

■障害者の皆様が快適で安心して安全で楽しくアットホームで満足できる生活を送れるよう支援しています。

法人会員	年額1口	20,000円
個人会員	年額1口	10,000円
賛助会員	年額1口	3,000円

会員には会報「やまばと」が郵送されます。

振込みは郵便為替で(手数料は本会負担) どの郵便局でも00220-5-14491です。口座名は 浄泉会やまばと学園後援会 新しく会員になられる方はご住所を電話等でお知らせ頂こう願致します。

やまばと学園内 後援会係担当  
〒259-1322 神奈川県秦野市渋沢2620-2  
Tel 0463-87-1188 Fax 0463-87-6876

### やまばと学園

リニューアルしました!  
ホームページ  
<http://yamabato.org/>

メールアドレス  
yamabato@galaxy.ocn.ne.jp

た。今年度も学園の様子を皆様にお伝えしていければと思っております。尚、ホームページをリニューアルし、「E」が変更されました。今後共、どうぞ宜しくお願い致します。  
(山崎・山本・森島・篠原)

